

# 学報

聖隷クリストファー大学  
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

2017.6  
Vol.49

特集

## 新入生セミナー

新入生インタビュー

先輩に聞け! 私たちの

### 就活サクセスストーリー / 就職・進学支援

聖隷クリストファー生の 専門学校生の

### 日常図鑑 セイレイライフ

クリストファーニュース / 専門学校の授業・実習・就職サポート

聖隷学園だより / 私の教育・研究 / 後援会・学友会から

新たな希望を胸に



## 学長就任の挨拶

この度、学長に就任いたしました大城昌平でございます。

建学の精神であるキリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」に裏付けられた保健医療福祉の人材養成に注力し、学生一人ひとりが聖隷の精神と、自信と誇りを持って巣立ち、社会の期待に応え得る大学づくりを目指します。

学生教育の基本方針は、教職員一人ひとりが隣人愛の精神を基に学生一人ひとりに尽くす教育を実践することです。この方針を基に、聖隷ブランドを活かした先進的かつ独創的な教育環境と教育課程・方法を提供し、主体性・創造性・実践能力を養います。そして、さらなる資格取得の向上と満足度の高い就職支援を図っていきます。

また、大学の質保証のため、教育研究活動等の各種データの活用や、保護者・学生満足度調査結果および意見を真摯に受け止め、組織的な自己点検評価と改革を厳格に実行していきます。これからも、学生と保護者、就職先、地域社会からの信頼を受け、選ばれ続ける大学となるよう教職員一同努力して参ります。今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

お お ぎ し ょ う へ い  
聖隷クリスティーナ大学 学長 大城 昌平



## 聖書のことば

みな  
皆互いに謙遜を身に付けなさい

同じように、若い人たち、長老に従いなさい。

皆互いに謙遜を身に着けなさい。

なぜなら、「神は、高慢な者を敵とし、

謙遜な者には恵みをお与えになる」からです。

新約聖書 ペトロの手紙一 5章5節



使徒パウロ(別名サウル、サウル)は、当時の世界の中心であったローマを目指しながら、さまざまな国の人々にイエスの教えを伝えていきました。その様子は、パウロの世界宣教に随行した主治医ルカ(コロサイ4:14)が聖書の「使徒言行録」に書き残しています。このパウロは、かつてサウルと呼ばれていた時期、イエスの教えに従う人々を探し出しては捕え、迫害するという反イエスの首謀者でした。

迫害が頂点に達しようとしていた時、サウルは突然「天からの光」に照らされ倒れてしまいます。目も見えず飲食もできなくなりました。まるで深い<sup>ずいどう</sup>隧道の中に落ちたかのようにです。

しかし、イエスはこの迫害者サウルを「わたしが選んだ器」と召し出し、なんと神の言の<sup>ことば</sup>宣教者として世界へと派遣するのです。とても信じられないできごとです。しかし、人知を超えた神の計画がここにあります。神が人間を見る時、我々とは異なり「主は心によって見る。(1サム16:7)」、「主は心の中を測られる。(箴言21:2)」のです。

皆さんを本学へと招いたお方は、皆さんの心を知っておられ、皆さんの進み行く「道の光り、歩みを照らす灯(詩119:105)」となってくださるのです。

本学に集う私たちは、イエスが示した隣人愛の実践のなかに、謙遜の模範をみます。

ながい えいじ  
聖隷学園宗教学主任 永井 英司

## 決意新たに！ 2017年度入学式を挙行 ～427名の新入生入学～

4月5日、アクトシティ浜松中ホールにて、聖隷クリストファー大学・大学院ならびに聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校の入学式を合同で執り行いました。今年度は、看護学部156名、社会福祉学部87名、リハビリテーション学部107名、助産学専攻科17名、看護学研究科14名、リハビリテーション科学研究科13名、社会福祉学研究科7名、介護福祉

専門学校26名の計427名の新入生（編入生を含む）が入学しました。

大学・大学院入学生を代表して、社会福祉学部子ども教育福祉学科の伊藤華歩さんが「建学の精神である『生命の尊厳と隣人愛』を胸に刻み、地域に貢献し、各分野で活躍できるよう成長していきたい」、専門学校入学生を代表して小野田なつみさんが「大学の様々な分

野の先生から授業を受けられることや同級生・先輩との交流を深め新たな関係を築けることを楽しみにしている」と決意や期待に満ちた言葉を述べました。

また、入学式の前後に保護者ガイダンスおよび後援会総会を行い、多くの保護者の皆様にご出席いただきました。



子ども教育福祉学科の伊藤華歩さん



介護福祉専門学校の小野田なつみさん

## 大学院看護学研究科 高度実践看護コースに「慢性看護学」「小児看護学」が認定 ～5領域で専門看護師養成へ～

2017年2月、本学大学院看護学研究科博士前期課程の「慢性看護学」「小児看護学」の教育課程が、日本看護系大学協議会の高度実践看護師教育課程(38単位)として認定されました。

本学では、かねてより同2領域において、26単位教育課程で専門看護師を養成していましたが、改めて38単位教育課程の申請をし、認定を受けました。これにより、2015年度に38単位教育課程が

認定された「老年看護学」「急性看護学」「がん看護学」に加え、計5領域において、ケアとキュアの融合による高度な知識・技術を駆使し、対象の治療・療養過程全般を管理・実践できる、より水準の高い専門看護師を養成していきます。

## K.M.奨学金を創設 ～小島操子前学長より奨学金のご寄付を賜りました～

聖隷クリストファー大学は、2017年度から新たな奨学金「K.M.奨学金(小島操子奨学金)」を創設いたしました。

小島操子先生は、2005年に本学に入職され、2007年から2016年の10年間、本学学長として多大なるご尽力をいただきました。この度、小島先生より「卒業後、国内外を問わず保健・医療・福祉の専門職者として社会に貢献する志を有する誠実な学生の養成に活かしてほしい」とのご要請で1,500万円のご寄付を

賜り、その全額を「K.M.奨学金(貸与)」として、保健・医療・福祉の専門職者を目指す学生の奨学資金として活用させていただくことといたしました。

本学には独自の奨学金として「M.H.奨学金(給付)」、「TOMI奨学金(給付)」、「菅野・太田・長谷川奨学金(貸与)」、「難波千鳥奨学金(給付)」、「同窓会・後援会奨学金(貸与)」があり、また聖隷グループの奨学金として「聖隷奨学会奨学金(貸与:返還免除制度あ

り)」、「ニッセイ聖隷健康福祉財団奨学金(給付)」があります。さらに、一般の奨学金として日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金など8種類の制度があります。

奨学金の詳細は大学ホームページ、CAMPUS LIFE(学生生活の手引き)でご覧いただける他、ご相談は「学生サービスセンター(電話:053-436-1125)」で承っています。

特集

# 新入生セミナー

毎年4月に新入生を迎えるにあたり、初年次教育の一環として「新入生セミナー」を開催しています。有志の上級生が中心となり、学生同士や教員との交流を通して新入生が大学生活に円滑に適応できるようにと企画・準備された様々なプログラムを催しました。

4月21日、たくさんの笑顔がみられた2017年度「新入生セミナー」の様子をご紹介します。

# たくさんの笑顔 はじけたっ!!



## 看護学部

会場／浜北総合体育館(グリーンアリーナ)



チームで力を合わせると  
自然と笑顔に



みんなの応援に、  
投げる球にも力が!!



各学部の新入生にセミナーの感想

## 社会福祉学部・介護福祉学部

会場／聖隷クリストファー大学第一体



### 医療中心に様々な本を読みたい。

なかの ゆうき  
**中野 優希さん**

看護学部 看護学科 1年次生  
静岡県立掛川西高校出身

#### Q1.新入生セミナーはいかがでしたか?

学年を超えて優勝を目指して協力したことで、普段はあまり関わることない先輩方や、同級生とのより良い交流ができたのではないかと思います。

#### Q2.専門職を目指す理由は何ですか?

医療に従事し人と関わる仕事に就きたいと考えたからです。様々な人と接しながらコミュニケーション能力を高めていきたいです。

#### Q3.大学生になって挑戦してみたいことは何ですか?

様々な本を大学生のうちに読んでおきたいと思っています。せっかく看護学生になったのだから、医療に関係した本を中心に読んでいきたいです。



まきの ゆり  
**牧野 友里さん**

社会福祉学部 介護福祉学科 1年次  
聖隷クリストファー高校出身

#### Q1.新入生セミナーはいかがでしたか?

普通の授業では交流できない人達できてよかったです。まだ、入学して2週の同期と話せたのでこれからが楽しみ

#### Q2.専門職を目指す理由は何ですか?

高齢者福祉施設で自分の長所であって過ごしていただいたり、寝たきりになっ

#### Q3.大学生になって挑戦してみたいことは何ですか?

私は子どもと接する事が得意ではない幼稚園や保育園、障害児の施設や小

元気さと明るさで利用者を笑顔にしたい。



# 4.21

## FRESHMAN SEMINAR 2017



### 社専門学校

育館

### リハビリテーション学部

会場/雄踏総合体育館



みんなと外で食べる  
ご飯はとっても美味しい!



学科ごとにチームを  
組んで長縄跳び



チームワークは新入生  
セミナーから生まれる?



童心に戻って夢中  
になって楽しめました!



や将来の希望などを聞きました。

生



アルバイトやサークルで多くの経験を。

い が み ゆ う  
伊賀 美結さん

リハビリテーション学部 言語聴覚学科 1年次生  
静岡県立浜松南高校出身

#### Q1.新入生セミナーはいかがでしたか?

学科ごとでチームになって競技に取り組んだので、一体感が生まれ、さらに仲が深まったと感じました。先輩や同期と仲良くでき、4年間楽しく過ごせそうです。

#### Q2.専門職を目指す理由は何ですか?

「食べる・話す・聞く」という生きていくのに当たり前のことができないのは本当に辛いことです。私はそのような人達の役に立ちたいと思い言語聴覚士を目指しました。

#### Q3.大学生になって挑戦してみたいことは何ですか?

人の気持ちを考えられる人になるために、多くの人とコミュニケーションをとり多くのことを経験したいです。そのためにアルバイトとサークルを始めたいです。



たか?

と交流する機会が  
間ですが、たくさん  
です。

すか?

る元気さと明るさで多くの利用者に笑顔で  
た人のお手伝いをしたいと思ったからです。

いこと何ですか?

いので、子どもと接する時間を増やすため、  
学校などでボランティアをしたいです。

本学の就職率は全学科100%です。

しかし、就活を前にした本人やご家族にとっては初めてのことから不安ですね。

ここでは先輩たちがどのように就活を行ってどのように自分の進む道を決めたのか聞きました。

# 先輩に聞け! 私たち 就活サクセ

## 子どもと関わることを諦めきれず、 大学の先生や就職センターに何度も相談した

私が小児科で働きたいと決め、本格的に就職活動を始めたのは4年次の夏でした。大学入学時に、子どもに関わりたいたいという気持ちから看護師と養護教諭の2つの免許を取ろうと決め、4年間学んできました。しかし、いざ就職先を考えるとどちらにするか決めきれずにいました。迷っていた私は教員採用試験を受けましたが不合格となり、それでも子どもと関わることを諦めきれず、大学の先生や就職センターに何度も相談し、現在念願の小児科病棟で働いています。夏までは友人たちが次々と就職を決めていく中で不安や焦りもありましたが、10月まで進路に悩み、後悔しないように自分が納得するまで就職先を考えられたことで、今はやりがいを感じて働いています。先生方や家族が一度決めたら納得するまで曲げられない私の性格をわかっていて、最後まで見守ってくれたことに感謝しています。



なかむら ゆか  
中村 友香さん

■就職先：藤田保健衛生大学病院(小児科病棟)  
看護学科 2015年度卒業／静岡雙葉高校出身

■取得資格：看護師、養護教諭1種免許

## 実習で「絶対保健師になりたい」へ 今思えば、実習自体が就職活動だった

私が本格的に就職活動を始めたのは4年次の5月に行った公衆衛生看護学実習の頃です。「いつか保健師になれたらいいな」という思いが、この実習を経験し、「絶対保健師になりたい」と思うようになりました。今思えば、実習自体が就職活動だったのだと思います。実習地の磐田市に就職したいと思ったので、実習期間の一日一日を大切に過ごしました。就職希望先の磐田市は地元でありましたが、私は市外で1人暮らしをしていました。そんな私のために家族は市内で回覧される広報や新聞記事など磐田市に関する記事があったら教えてくれました。面接対策にもなりとても心強く嬉しかったです。実習・就活・国試勉強が重なって疲れて帰ってきたとき、何度も家族に支えられました。家族は精神的に重要なサポーターなので、4年次生の勝負の1年、お子さんと一緒に頑張ってください!!



やまもと ゆな  
山本 夕菜さん

■就職先：磐田市 ■取得資格：保健師、看護師  
看護学科 2016年度卒業／静岡県立磐田西高校出身

## 支援プログラムで進路決定と就職活動をバックアップ

就職センターでは、  
また、履歴書・エント

### 公務員試験対策講座、 筆記試験・論作文対策講座

採用試験における一般教養試験対策。非言語能力(数的処理)、社会の一般常識と時事問題、言語能力の対策講座です。論作文対策講座では、制限時間内にわかりやすく書くコツを学び、実際に書いた論文に対し添削支援を受けられます。

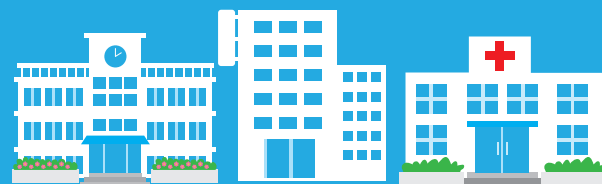
### 就職マナー・面接対策講座

病院・施設説明会やインターンシップ、就職活動時のマナーや面接試験での対応などについて学ぶ対策講座です。また、スーツ着こなし講座とメイクアップ講座では、就職活動に役立つ身だしなみとメイクアップを学びます。



就職マナー講座

# ちの ストーリー



## 親の何気ない言葉や優しさが、 就活を乗り越える原動力になると思う

3年次の11月頃に就活のことがよく分からなかったため、情報を得るために、就活サイトに登録しました。本格的に就活を始めたのは3年次の3月のインターンシップが始まった頃です。それから、就職センターやゼミ、学科の先生に何度も相談、励ましをもらい就活を乗り越えました。家族が話を聞いてくれたり、健康面や精神面でサポートしてくれたり、「これだけ頑張ってきたのだから大丈夫」と言ってくれたりしたことが、とても支えになりました。就職先を決めるにあたり、親と話し合い、悩む時期もありましたが、親の思いを知ったことで、自分の決断に自信を持つことができました。子どもを一番長く見守ってくれているのは親だと思うので、親からの背中を優しく押してくれる、何気ない言葉や優しさが、就活を乗り越えられる原動力の一つになると思います。



いとう あやめ  
伊藤 綾芽さん

■就職先：社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜名湖エデンの園  
介護福祉学科 2016年度卒業／静岡県立浜名高校出身

■取得資格：介護福祉士、社会福祉士

## 嬉しかった母のアドバイス 私はそれで動き始めることができた

3年次の春休みに初めて求人情報を見て、いくつか地元の病院の求人動向を探りました。就職先を地元にするのか、地元以外にするのか悩み始めた頃に、地元の場合として考えていた病院の求人情報が発表されました。臨床実習Ⅲが始まっておらず、ここで決めてしまえば良いのかと迷い、一方で、焦ってもしました。そのような時に、母に「せっかく求人があるのに、何もしないで諦めるのはもったいないのでは？」とアドバイスされ、動き始めることができました。

私が相談したときに、必要としている言葉をかけてくれたことを嬉しく感じました。就活生が必要とした時に、社会人の大先輩としてアドバイスをしていただけなのが、就活生としては嬉しいのではないかと思います。



いとう あきほ  
伊藤 明穂さん

■就職先：伊奈中央行政組合立伊那中央病院 ■取得資格：言語聴覚士  
言語聴覚学科 2016年度卒業／長野県伊那弥生ヶ丘高校出身

就職活動を支援するために様々な就職支援プログラムを実施しています。  
リーシート添削や模擬面接なども一人ひとり丁寧に実施し、希望の進路実現に向けて全力で支援しています。



卒業生との懇談会



病院説明会

### 卒業生と在学生との懇談会

専門職者として勤務されている卒業生をお迎えし、専門職者として求められることや仕事の内容、どのように就職を決定したのかなどについてお話をうかがいます。気軽に質問できる雰囲気、より具体的な体験談を聞くことができます。

### 病院・施設説明会

病院・施設の採用担当者として働く先輩方をお迎えし、説明会を開催。病院や施設の求める人材、採用基準などをうかがい、病院や施設の理解を深め就職先を選択する機会とします。

### ▶ 看護学部



**将来像のイメージ化・  
キャリアデザインを経て  
志望領域や就職先決定へ**

くろの ともこ  
**黒野 智子**  
就職副部長／看護学科 准教授

看護学部の就職支援の方針は、「学生が希望するところへ就職することを支援する」です。看護職も、昨年度から就職試験の時期が早まる傾向にあります。それに伴い本学でも看護専門職への興味や、やりがいを早くから見つけられるように1年次から「基礎演習」や「専門職連携の基礎」の中で、看護師、保健師、助産師として働く卒業生や看護学実習を終えた4年次生から看護師の役割や専門職として大切なことを聞き、教員からは臨床で働いた体験を聞き、自分の将来像をイメージできるようにしています。

2年次～3年次では、「基礎看護学実習Ⅱ」や各看護領域の講義や演習で広く看護を学び、必修科目である「キャリアデザイン」では、専門看護師や認定看護師などの看護職のキャリアコース、社会人基礎力やストレス対処法などを学修し、自分のキャリアをデザインします。

3年次秋 semester から始まる領域別看護実習、統合実習では、ロールモデルとなる臨床の看護師との出会いや患者様に看護を実践する体験を通して、自分の適性や興味から進路を絞り込んでいきます。さらに、「4年次生による就職活動報告会」、「卒業生との懇談会」、「学内病院説明会」などの行事や各病院のインターンシップに参加し、志望領域や就職先を決定していくように促しています。また、エントリーシートの添削、模擬面接などの個別支援も行っております。

### ▶ 社会福祉学部



**一人ひとりが働ける「場」を  
得られるように支援**

さかもと みちこ  
**坂本 道子**  
就職副部長／こども教育福祉学科 教授

今年度は、学生からも保護者からも、就職に関しては、教員および就職センターの対応・助言・相談に対して、よい評価をいただきました。これは、学生一人ひとりが、自分の人生に向きあった結果であり、保護者の方々の温かいバックアップがあった結果であると承知しています。この結果、2016年度も社会福祉学部の各学科ともに100%の就職率となりました。

新学期開始にあたり、大学での就職支援活動について説明をさせていただきます。各学年、オリエンテーションで、その学年で行う就職活動について説明しました。特に、3・4年次生は、大学で用意した様々な就職支援活動が始まるので、その内容についてお伝えしました。

学生支援体制は、3・4年次生はゼミの担当教員が中心に、また1・2年次生ではアドバイザー教員を中心に整えています。こうして、学生たちの悩み、戸惑い、苛立ち、希望、熱い思いを近くで一緒に分かち合わせていただいています。もちろん、学科独自の領域があるので、学科長をはじめ、就職対策委員や各教員とも交流を深めています。また、就職センターも学生たちの心配や不安に寄り添って、エントリーシートの添削や面接練習などの個別指導をしています。保護者の方々には、入学時、そして毎年7月の保護者懇談会において、学生へ行っている就職支援活動や、就職までの一連の流れなどについてご説明させていただいており、個別相談も行っています。

このように、学生一人ひとりが生きいきと働ける「場」を得られるように、支援しています。今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### 2016年度卒業生・修了生の就職・進学状況

就職先の詳細については、大学ホームページに掲載しています。

2016年度卒業生・修了生の就職率\*は100%です。保健医療福祉の専門職者として325名(97.6%)が病院・福祉施設・こども園などで社会人としてのスタートを切りました。看護学部の就職は、看護師が126名、保健師が8名、養護教諭が1名でした。進学者は7名全員が本学の助産学専攻科です。社会福祉学部では、社会福祉士や精神保健福祉士として5名が公務員、4名が医療機関へ就職しました。こども教育福祉学科は、25名が保育教諭・幼稚園教諭・保育士になり、6名が公立保育所・幼稚園に就職しました。

(2017年5月現在)

	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数	就職率
看護学部	148	7	136	136	100.0
助産学専攻科	17	0	17	17	100.0
社会福祉学部	社会福祉学科	36	1	34	100.0
	介護福祉学科	14	0	14	100.0
	こども教育福祉学科	46	0	46	100.0
リハビリテーション学部	理学療法学科	32	0	32	100.0
	作業療法学科	32	0	32	100.0
	言語聴覚学科	23	0	22	100.0
大学計	348	8	333	333	100.0

\*「就職率」は、就職希望者に占める就職者の割合です。単位：数は名、率は%。





## ▶リハビリテーション学部



### 学生と教員、学生と就職センター 双方の協同が必要不可欠

やべ ひろき  
**矢部 広樹**

就職委員／理学療法学科 助教

リハビリテーション関連職種の就職活動は、一般企業への就職とは異なる点が多々あります。例えば基本的に併願を行わないことや、就職活動を4年次から行うことです。また、就職を希望する病院の地域はもちろん、急性期・回復期・維持期などの違いや、施設の専門領域の違いなども考慮しなければなりません。施設ごとに異なる特色を考慮しながら、さらにリハビリテーション関連職種に特有な就職活動方法の中で、学生にとって最適な就職施設を決定するためには、学生と教員、学生と就職センター双方の協同が必要不可欠となります。

リハビリテーション学部における就職活動のサポートでは、各学科の就職担当教員が、病院・施設の特色や専門分野などの情報を集約し、学生へ提供する役割を担っています。また、各学年のアドバイザーも就職担当教員と協力し、学生が就職先に求める特色や、就職後のキャリアデザインなどの情報を共有することで、学生が最適な就職活動ができるようサポートしていきます。また、就職センターでは、論作文試験対策講座や筆記試験対策講座などの就職支援講座を実施しております。就職担当教員も就職センターと協力し、就職活動に有益な講座を学生に紹介していきます。

就職活動の際は、教員や就職センターをぜひご活用ください。私たちは、学生の就職活動を全力でサポートしていきます。

## ▶就職センター

### 個別の相談や求人情報の発信だけでなく、 就職活動の不安や迷いを取り除くための 様々な就職支援プログラムを用意

就職支援として、各学年4月と9月にガイダンスを行っています。1・2年次生には①専門性を高める②自分を見つける③社会と仕事を知る期間として、学生生活のさまざまな場を学び、気づき・成長の機会として、いろいろな事に積極的にチャレンジするように勧めています。3年次の10月以降には、「卒業生（専門職者）による仕事報告会」「4年次生による就職活動報告会」「就職マナー講座」「スーツ着こなし講座」「メイクアップ講座」などの就職支援プログラムを実施しています。年間の就職支援プログラムは「WEBキャリア支援センター」「就職センターホームページ」からご覧いただけます。

保護者の皆様には「就職ガイドブック（抜粋版）」を同封にてお送りしました。就職支援プログラム、4年間の就活ロードマップ、卒業生・修了生の進路状況データなどを掲載していますのでご覧ください。

### 求人情報について

#### ▶求人情報配信システム

大学に届いた求人情報は、就職センターホームページや求人情報配信システムより配信されるメールにより学生にお知らせしています。保護者の皆様にもご利用いただけます。システムへはWEBキャリア支援センターホームページから簡単にご登録が可能です。



<http://www.seirei.ac.jp/webcareer/index.php>

## 求人票・就職進学試験報告書の閲覧について

採用・入学試験を終えた学生が記入した採用・入学試験についての報告書を就職センターホームページで自由に閲覧できます。保護者の皆様もご登録いただくことができます。ログインにはIDとパスワードが必要となりますので、ご希望の方は就職センターまでメールにてご連絡ください。

就職センター [メール] [syuusyoku@seirei.ac.jp](mailto:syuusyoku@seirei.ac.jp) [ホームページ] <http://blg.seirei.ac.jp/ssk/>

## 大学院への進学について

先端科学技術の発展による医療の高度化、少子高齢社会の到来に伴い、日々変容する状況に十分対応できる高度専門職業人の養成が重要課題となっています。聖隷クリストファー大学大学院には、看護学、リハビリテーション科学、社会福祉学の3つの研究科（博士前期課程・後期課程）があります。本学を卒業した方、既に医療機関や福祉施設などに専門職として勤務経験をもつ方が入学し、それぞれの分野をより深く探求し、より質の高い援助ができる優れた専門職を目指すための教育を行っています。授業は、保健医療福祉施設などで勤務する専門職者が休職あるいは一時退職することなく、在職したまま大学院教育を受けることができるよう、夜間および土曜日や長期休業期間中に行っています。

## 社会的に困難な当事者に 夢と希望を抱かせる専門性の育成

社会福祉学研究科長・教授

おおとも のぶかつ

**大友 信勝**

【プロフィール】日本福祉大学卒業、博士(社会福祉学)を東洋大学社会学研究科で取得。秋田県民生部で現場経験をしてから、教育・研究職に入り、日本福祉大学、東洋大学、龍谷大学等を経て現職。日本社会福祉学会理事、日本地域福祉学会理事、日本学術会議連携委員等を歴任。



### ——先生の学びのきっかけと専門分野について教えてください

大学を卒業し、社会福祉の実践、教育・研究に入ってから50周年になります。このほど『社会福祉研究のころざし』(法律文化社)を発刊し、終章に「自分史」を書きました。

学びのきっかけは戦後の貧困と母の難病が背景にあり、福祉事務所で生活保護の仕事をしたことから始まります。専門は社会福祉原論研究であり「社会福祉とは何か」を歴史的、社会的に研究し、特に利用者・当事者の視点、立場から生命の重み、人権・尊厳を研究しています。

### ——大学院ではどのような学びができますか

社会福祉学研究科は、社会福祉の原理と援助の2領域に分け、高度専門職者の育成を行っています。原理領

域は、社会福祉の価値・思想、歴史的展開や政策・理論の研究、国際比較を学びます。さらに複雑化する生活問題の調査、改善・解決に関わる援助理論、方法として、ソーシャルワーク、マネジメントなどを学びます。

援助領域は、子ども・家庭福祉、障害・高齢者福祉、介護福祉について、援助理論の枠組み、方法論、実態把握の調査、先進的事例の分析や比較研究を学びます。さらに、隣接する保健・医療との連携や関連しあう諸科学を学び、新たな時代を切り開く高度専門職者を目指します。

### ——現在取り組まれている研究や活動について教えてください

社会福祉研究を「社会的に最も困難な立場にある当事者の生活問題」、「時代の課題を自らの学問的テーマに据える」ことを意識的に考え、取り組んできました。

前者については貧困を社会問題として捉え、生活保護政策の特徴や改善課題の研究として取り組んでいます。後者については、福島原発事故避難者問題をチェルノブイリと比較研究し、災害と社会福祉を研究しています。

常に当事者の実態と声、先行研究に学び、研究心を持続させ、学術論文や学会発表を行い、社会的発信を心がけることが必要だと考えています。



生活困窮者支援の日韓国際シンポジウムで  
研究発表をする大友教授

# 新任教員の紹介



①出身校 ②前任校・前勤務先 ③専門分野 ④メッセージ

## 看護学部(成人看護学)

おおいし ふみこ  
大石 ふみ子 教授

①千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程②愛知医科大学看護学部③がん看護学④30年以上離れていた故郷に帰郷し、学部は成人看護学、研究科ではがん看護学を担当させていただきます。大学と地域との連携を大切に頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。



## リハビリテーション学部(理学療法学科)

たわら ゆういち  
俵 祐一 准教授

①長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程②長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻③内部障害系理学療法学科④大学院修士課程は本学で修了しました。母校で学生の皆さんの教育に貢献できることに大変名誉を感じています。皆さんが立派な医療人となるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



## 看護学部(老年看護学)

こやま さとみ  
小山 沙都実 助教

①藤田保健衛生大学大学院保健学研究科修士課程②医療法人社団一穂会 西山病院③老年看護学④学生の皆さんとともに学び成長していきたいと思ひます。皆さんの学生生活が有意義なものになるようにサポートをしていきたいと考えていますのでどうぞよろしくお願いします。



## 2017年度に新たに就任した役職者



学長

おおぎ しょうへい  
大城 昌平 教授



リハビリテーション学部  
学部長

しんぐう なおひと  
新宮 尚人 教授  
(作業療法学科長兼任)



就職部長

やぐら ちあき  
矢倉 千昭 教授  
(リハビリテーション学部  
理学療法学科長兼任)



## キャンパススケジュール

赤字…大学 緑字…介護福祉専門学校  
黒字…共通 太字…保護者懇談会

4月 4(火) 新入生オリエンテーション・  
在学生ガイダンス(6日)  
5(水) 入学式・保護者ガイダンス  
6(木) 防災訓練  
7(金) 春semester授業開始  
21(金) 新入生セミナー  
28(金) 介護福祉専門学校 交流会(歓迎会)



5月 1(月) 創立記念日  
2(火) 海の日振替休日  
20(土) 介護福祉専門学校 保護者懇談会

6月 19(月) 春semester授業終了  
20(火) 春semester定期試験(23日まで)

7月 1(土) 社会福祉学部 保護者懇談会  
17(月) 授業日(海の日)  
20(木) スポーツ大会  
28(金) 春semester授業終了

8月 1(火) 春semester定期試験(7日まで)  
9(水) 事例研究発表会  
29(火) 春semester追・再試験(30日まで)

9月 4(月) 2年次生 秋semester授業開始  
20(水) 卒業式・修了式  
21(木) 秋semesterガイダンス  
22(金) 秋semester授業開始  
1年次生 秋semester授業開始

10月 9(月) 授業日(体育の日)  
21(土) 看護学部 保護者懇談会  
28(土) リハビリテーション学部 保護者懇談会

11月 3(金) 授業日(文化の日)  
4時限目以降聖灯祭等準備  
4(土) 聖灯祭・ホームカミングデー  
23(木) 授業日(勤労感謝の日)

12月 20(水) クリスマス礼拝  
27(水) 冬期休み(1月8日まで)

1月 19(金) 秋semester授業終了  
24(水) 秋semester定期試験(30日まで)  
29(月) 卒業生を送る会

2月 22(木) 秋semester追・再試験(23日まで)

3月 5(月) 卒業式・修了式、卒業パーティ

# 日常図鑑

勉強、食事、バイト、オフタイム…。クリストファー生たちはどのような大学生を送っているのでしょうか？

## ①どんな勉強してる？ ②どんなバイトしてる？ ③どんな食事してる？ ④休日の過ごし方は？

ほりえ しょうご

**堀江 祥吾さん**

社会福祉学科3年次生  
静岡県立浜松工業高校出身



①主に社会福祉と精神保健福祉に関する勉強をしています。授業の内容が国家試験に直結しているため休まず出席しています。

②スーパーで品出しをしています。新商品やトレンドをいち早く知ることができるため、とても参考になります。



③節約のため、親に弁当をつくってもらっています。授業の空きコマが続くと、友達とランチに出かけることも。



④近所の映像・音楽のレンタルショップでDVDを借りて家で観ています。とくにアクション・ドラマ関係の作品を借りることが多いです。



3年生になり、すべての専門科目になったので、勉強のギアを一段上げています。

もりや **森谷 さつきさん**

看護学科3年次生  
静岡県立藤枝西高校出身



①空きコマや放課後に食堂や図書館で勉強しています。学校の方が集中できます。



②自宅近くのドラッグストアで週4日バイト。雰囲気良く楽しく働いています。



③昼は食堂で学食を食べることが多いです。好きなメニューはカツカレーです。



④夜にバイトがあるので、それまでは友だちと出掛けたり、家でゆっくり過ごします。

おの ゆうな

**小野 夕菜さん**

作業療法学科3年次生  
静岡県立浜名高校出身



①友達と5号館にある個室で勉強をすることが多いです。静かなので集中してできます。



②自宅近くの本屋と大学の病院でバイト。回数が多いため無理なく続けられます。



③節約のために昼はなるべくお弁当を作るようにしています。



④休日は友人と遊んだりバイトやボランティア活動をすることが多いです。



家族の大きな支えのおかげで、毎日充実した大学生活を送っています。

自由な生活スタイルで、勉強もプライベートも十分に時間が取れて快適。

## 聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

### 今年度より英語プログラムを取り入れ ～豊かな国際感覚を養うために～

今年も新しい子どもたちを迎え、新年度がスタートしました。

初めて親元を離れて集団生活の仲間入りをした子どもたちは、安心できる人や物との触れ合いを通して、徐々に自分の居場所を見つけ、安心して過ごせるようになっていきます。大学生のお兄さん、お姉さんにもたくさん抱っこしていただきました。

今年度より、こども園では『世界に対する視野を広げ、コミュニケーション能力を豊かにする』ことを基本目標とし、英語プログラムを取り入れています。年長組対象のBernadeth先生の英語クラスを初め、インド出身のNadishさんとランチの準備をしながら楽しく交流しています。

長時間椅子に座り、一斉的に英語を学ぶのではなく、生活の中で自然と英語

に浸りながら、楽しみながら学んでいます。

こども園の英語プログラムは、英語を話すことではなく、豊かな国際感覚を養うことを目的としています。世界には多様な文化があり、様々な人が暮らしていること。英語を通して思いを伝い合えることに気づき、伝える楽しさを知ること。言葉



Bernadeth先生の英語プログラムの様子



プレ実習中のこども教育福祉学科学生と

や人種の違いはあっても相手を理解しようとするなど、こども園生活の中で、英語と同時に相手の人格に触れながら、互いに愛し、愛される体験を存分に味わって欲しいと思います。

隣人愛の心を持って、世界に羽ばたいて欲しいと願っています。

## 聖隷クリストファー中・高等学校

### “聖隷ならではの”の中大、高大連携プログラム



看護学部生による身体測定や健康診断

中・高等学校と大学との間で行っている、“聖隷ならではの”の連携プログラムをご紹介します。

まずは聖隷プロジェクト(通称Pクラス)です。高1・2年で看護などの分野への進学を希望する生徒たちは、1年間を通じてPクラスに登録し、大学の看護・社会福祉・リハビリテーションの各学部の先生方から講義を受け職種による特性を学び、進路選択のために考える時間を持つ

ています。

昨年度新たに始まったのが、リハビリテーション学部による部活動サポート事業です。運動部活における負傷の多さが課題となっていますが、大学からのお声掛けがきっかけで、まずは男子サッカー部へのサポート事業がスタートしました。高2の部員対象に「運動器検診」や体力テストをもとに「早期発見早期治療」をプログラム化する計画が始まっています。

3～4月に次々と実施される中高の身体測定や健康診断の際に、看護学部の養護教諭課程の皆さんがきめ細かくお手伝いくださる光景は、もう当たり前のものとなりました。実習の場となる喜びもありますが、看護学生が学ぶ現場を生徒たちが見ることのできる絶好の機会です。

助産学専攻科生による中3生対象の

思春期講座「命の大切さを伝える授業」は、性や出産について正しく知り、人生について深く考えさせられる素晴らしい講座です。2017年度からは、中1・2生にも拡大していただけることになりました。

どの連携でも先生方の周到なご準備と、学生さん方の暖かく熱心な取り組みに感謝し、お隣に素晴らしい併設校がある学園の幸せを感じています。



助産学専攻科生による思春期講座

# 専門学校2年目へ



**「隣人愛」を大切に  
介護福祉士を目指して  
いきたい**

1年次生 おのだ 小野田なつみさん  
静岡県立新居高校出身

私が介護の職に就きたいと思ったのは、病気で寝たきりになってしまった祖父がきっかけでした。いつも元気だった祖父の弱々しい姿にショックを受け、お見舞いへ行くことができませんでした。何もできなかった後悔や大切な人の死の辛さを経験したことで、祖母や両親の老後を考えるようになりました。本校では建学の精神である「隣人愛」を大切に、友人と互いの技術や能力を高め合いながら、介護福祉士を目指していきたいです。



**介護福祉士への  
第一歩を踏み出している  
実感**

1年次生 ふじまつ りゅうき 藤松 龍輝さん  
聖隷クリストファー高校出身

私は母が介護福祉士として施設で働いている姿や母からの話を聞いて、介護福祉士に興味をもちました。専門学校に入学し介護福祉士に必要な基礎知識を学ぶにつれて、介護福祉士への第一歩を踏み出していると、今実感しています。また、これから実習を通して、利用者様とのコミュニケーション方法や、介助方法について学びを深めていきたいと思っています。専門学校1年次生26名と共に、2年間の学びで自分自身が理想とする介護福祉士になれるように頑張っていきたいです。

# 専門学校の授業と実習

大学の充実した学習環境を利用し、専門学校の教員と共に、日々新しい知識・技術を開拓している大学の教員が授業を行います。

## ● 授業紹介

### PICK UP 1 医療的ケア

医行為のうちの高齢者および障害児・者の喀痰吸引と経管栄養の知識と技術を学びます。喀痰吸引は呼吸を、経管栄養は食事を、いずれも要介護者の生命維持に関わることであり介護福祉士を目指す中で医療的ケアの学びは、医療職の理解と医療職との連携方法を深く知ることができる科目です。



### PICK UP 2 認知症の理解II

認知症に関する基礎的知識を修得するとともに、認知症を取り巻く状況を医学的側面、社会的側面、心理的側面、福祉的側面から理解し認知症のある人の気持ちを考え、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を修得することを目的とする科目です。



### PICK UP 3 生活支援技術基礎I

尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する科目です。

利用者、介護者、観察者という多面的な体験を通して学びます。



## ● 実習紹介 介護実習II 情報収集の正確さが良い介護計画へと繋がることを感じた

私は、介護実習Iの23日間を特別養護老人ホーム 浜松十字の園で行いました。介護実習IIでは担当ご利用者様を受け持たせていただき、初めて介護過程の展開を行いました。

担当ご利用者様の情報収集、介護計画の立案、介護計画の実施、評価を行いました。介護福祉士の責任の重さや難しさを感じた実習でもありました。特に私が介護過程を展開していく中で重要であると感じたことは情報収集です。情報収集が正確に行えれば、担当ご利用者様への理解につながり、良い介護計画ができるのではないかと感じました。今回の実習の学びを今後の実習へ活かしたいと強く思います。



みちなか ゆき

2年次生 道中 裕貴さん

## 就職・進学支援

就職支援プログラムの予定や活動状況の詳細は、就職センターホームページをご覧ください。

### 就職活動において大切なことは、情報収集です

専門学校は、2年間の修業年限であることから、1年次5月に就職支援プログラム「社会人になるための基礎講座」を行います。また、6月には社会福祉学部「介護福祉学科学園内推薦編入学」への進路支援が始まります。本校では、“この道より我を生かす”働き方ができるように、学生生活の質を高めることで学生さん一人ひとりの人間性が磨かれることを願っています。

就職活動において大切なことは、情報収集です。学生さん自らがご自分の人生を意識し、情報収集を行い、社会とつながる進路を自己選択・自己決定できるように、教員と就職センターが連携し支援していきます。

就職に関するご相談や質問など、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ窓口／就職センター

[電話]053-436-7233 [メール]syuusyoku@seirei.ac.jp

[ホームページ]http://blg.seirei.ac.jp/ssk/



就職担当教員  
すぎやま せつこ  
杉山せつ子

### 就職・進学支援プログラム

#### 1年次

4月4日 進路ガイダンス

5月11日 社会人になるための基礎講座

5月19日 就活マナー講座

5月31日 スーツ着こなし講座・メイクアップ講座

9月 進路ガイダンス

11月 卒業生による仕事報告会

履歴書の書き方・面接の受け方講座

12月 編入学ガイダンス

2月 編入学入試説明会

3月 進路ガイダンス

聖隷福祉事業団採用試験説明会・

施設見学会

#### 2年次

4月 進路ガイダンス、福祉施設説明会

9月 進路ガイダンス

1月 就職内定後の心構え・

社会人としての心構え

※2年次生には、随時、履歴書の添削、模擬面接などの個別支援を行っています。

## 2016年度介護実習 実習報告会Ⅱ ～成長の確認と学び合いの場～

4月20日、1年次秋 Semester に行った介護実習Ⅱの報告会を開催しました。23日間の実習では、受持ち利用者と向き合い信頼関係を築きながら初めての介護過程の展開をしました。

報告会には実習でお世話になった施設の方々のほか大学の介護福祉学科の1年次生も参加し、貴重なご指導をいただいたり、活発な質疑応答が行われるなど、良い学びの時間となりました。



実習報告会の様子

参加者の方から貴重なご意見をいただきました。

## 新入生セミナー ～ようこそ新入生～

4月21日、社会福祉学部と合同で「新入生セミナー」を行いました。大学2～4年次生と専門学校2年次生の有志が中心となり、学生同士や教員との交流を通して、新入生が学生生活にスムーズに馴染んでいけるようにと企画された様々なプログラムを実施しました。たくさんの笑顔があふれた一日となりました。



## 保護者懇談会 ～保護者の方とのコミュニケーションを図る～

5月20日、保護者懇談会を行い、12組13名の方にご参加いただきました。

この懇談会は、保護者の方と専門学校とのコミュニケーションの場として、教育環境や教育の現状、目的、課題などについて学校側から説明をするともに、学業や学生生活、就職、健康面など保護者の方々の質問に直接教員や職員が答え、疑問・不安などを解消していただくことを目的として、後援会の協力を得て開催しています。

午前の部では校長挨拶のほか実習や就職などについての説明が行われた後、学内施設を見学しました。午後の部では希望された方を対象に個別相談を行いました。



全体説明会の様子

昼食懇談会



Life Data



2年次生  
おきばやし こうた  
**沖林 晃太**さん  
浜松開誠館高校出身

PICK UP  
**自宅生**

介護福祉士を目指して  
充実した学生生活を  
送ることができています。



STUDENT VOICE

家族のサポートで  
学業に専念できています

車で移動するようになって行動範囲が広がったので、クラスのメンバーと美味しいものを食べに行ったり、遠くに遊びに行ったりしています。学校には様々な年代の方がいて色々な考えを聞くことができ、充実した学生生活を送っています。私は自宅から車で学校に通っているのので家の事は親に任せることができ勉強やアルバイトに集中できています。

毎日の授業や実習では、高齢者や障がいのある人の心身の状態、入浴や排泄などの支援、人間としての尊厳の保持と自立した生活を支える必要性などについて学び、介護福祉士として必要なことへの理解を深めています。今後も、自分磨きをし、利用者一人ひとりの生活を支えられる介護福祉士になりたいと思っています。

🕒 09:00 座学



朝一から授業があり、たくさんの科目があるので気を引き締めて取り組んでいます。

🕒 13:25 グループワーク



グループワークも多く行われ、課題を本やパソコンなどで調べ話し合っています。

🕒 17:00 放課後



アルバイトを行ったり友人と学校に残って勉強したり遊んだりしています。

CAMPUS LIFE  
PHOTO  
LIBRARY



4月5日に2017年度後援会総会を開催し、下記のとおり2016年度決算および2017年度予算が承認されました。2017年度は、下記の2点について重点的に予算を編成しました。

- 1) 国試対策講座への補助に重点配分します。 2) 学生ホール内のWiFi整備を実施します。

科目	項目	2016年決算	2017年予算
収入の部			
(単位:円)			
入会金・会費	入会金	3,497,500	3,727,500
	会費	28,039,784	29,080,000
	特別会員会費	5,382,997	5,400,000
利息	預金利息	1,002	20,000
前年度繰越金		5,976,017	4,769,818
収入の部合計		42,897,300	42,997,318
支出の部			
(単位:円)			
教育活動 振興援助費	新入生セミナー援助	1,222,857	1,562,000
	実習交通費宿泊費等の補助	799,994	800,000
	実習宿泊費補助	1,600,000	1,600,000
	学外学会等参加費補助	79,985	80,000
	国家試験対策講座等に係る費用の補助	4,015,187	4,305,000
	学生相談室の運営に係る費用の補助	3,958,407	4,645,000
	健康診断に係る費用の補助	4,268,830	4,510,000
	健康管理センターの充実補助	113,841	220,000
	学生の自主活動に係る費用の補助	2,170,000	2,220,000
	学生食堂運営費、売店運営費の補助	3,771,824	4,400,000
福利厚生費	防犯・交通安全の啓発に係る費用の補助	177,588	180,000
	スクールバス運行補助	1,500,000	1,500,000
	スクールバス運行補助(特別会員会費)	5,382,997	5,400,000
	卒業記念品および卒業パーティ開催費	3,018,724	3,200,000
	学生用コピー機、印刷機費用の補助	745,541	1,300,000
	防災用備蓄品の購入補助	187,488	300,000
	会員情報提供費	1,998,559	2,100,000
施設設備費	広報紙印刷費、発送費	679,500	950,000
	学生福利厚生設備の充実費用	997,920	600,000
	学生駐車場防犯カメラリース料、キャンパス周辺の防犯灯維持費	239,982	250,000
	キャンパス内整備(学生ホール等)、備品の購入経費	696,600	200,000
総務費	慶弔費	10,000	50,000
	保護者満足度調査経費(郵送費)	382,712	400,000
	会費納付書等印刷費、郵送費	73,366	60,000
	役員会	35,580	50,000
予備費		0	2,115,318
次年度繰越金		4,769,818	0
支出の部合計		42,897,300	42,997,318

## 2017年度 後援会役員

会 長 鈴木 浩人  
 副 会 長 増井 悦子、小出 紀久一、  
 池田 しげみ、渡辺 泰宏(大学学生部長)  
 理 事 小尾 誠、石井 尚志、河野 優子、  
 青木 慶、鈴木 道德、牧野 光子、  
 宮崎 純夫、古川 英治、後藤 建一、  
 石塚 正通  
 幹 事 中村 憲司(総務部長)、  
 川野 淳弘(学生サービスセンター長)  
 会計監査 藪谷 淳、加藤 伸司

## 2016年度の重点課題について【報告】

2016年度は特に、下記3点を重点課題に挙げ対応しました。

### ①学生食堂の座席数の増加を図り、混雑の緩和を目指します。

2号館2階学生ホールの座席数を28席増席しました。2階は108席となり、1階の464席と合わせると572席になりました。

### ②学生用新規駐車場に防犯カメラを設置します。

第4駐車場に防犯カメラを3台設置しました。

### ③キャンパス周辺の防犯灯の設置を継続して実施します。

要望の多い、第3駐車場までの経路へ外灯追加設置または、樹木の伐採に向けて複数回にわたり土地所有者に働きかけてきましたが、合意には至りませんでした。



## 後援会会長 就任挨拶 鈴木 浩人

すずき ひろと



日頃より会員の皆様には、後援会活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

本学後援会では、各学部・専門学校の保護者懇談会を始めとして、国家試験対策講座の補助、学生用施設設備の充実など、大学・専門学校と連携して事業を行なっております。

今年度も役員一同、保護者の皆様からのご支援をいただきながら、「学生ファースト」の姿勢で様々な支援事業に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 保護者の皆様へのお知らせ

### 「2016年度保護者満足度調査結果報告書」を本誌に同封してお送りいたしました

2016年度保護者満足度調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただきました多くのご質問・ご要望に対し、すべてではございませんが本学からの回答を掲載しております。ぜひ一読いただけますようお願いいたします。また、在学生を対象に実施した「在学生満足度調査」につきましても、在学生より寄せられた多くの意見に対し分析、改善策を検討いたしました。在学生に向けましては学内において回答を掲示する予定です。今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援ご協力くださいますようお願いいたします。

### 2017年度保護者懇談会開催のお知らせ

2017年度保護者懇談会を右記の日程で開催いたします。保護者懇談会は、保護者の皆様に大学にお越しいただき、教育環境の現状についてお話を聞いていただくほか、お子さんの学業や学習生活、就職、健康面などについて教職員と直接お話いただけるプログラムとなっています。詳細が決定次第、ご案内状をお送りいたしますのでこの機会にぜひご来学いただければ幸いです。

学 部	日 程
介護福祉専門学校	5月20日(土)
社会福祉学部	7月 1日(土)
看護学部	10月21日(土)
リハビリテーション学部	10月28日(土)

## 学友会から



つばい のぶひさ  
学友会会長 **坪井 暢久** (リハビリテーション学部2年次生)

今年度学友会会長に就任いたしました、作業療法学科の坪井暢久です。学友会では学生の皆さんが充実かつ快適な生活が送れるよう努めていきたいと思っており、季節ごとに学友会が主催するレクリエーションを行い、他学部他学科の学生、専門学校生との交流も深めていけるよう取り組んでいきます。またサークル、同好会など学生の主体性をもった活動ができるよう支援していきたいと思っています。

人数も少なく至らぬ点が多いとは思いますが、学友会一同協力して頑張っていきますので、皆様のご理解ご協力またご支援をお願いいたします。

## 2017年度 学友会関連行事

4月 6日(木)	新入生歓迎会
6月 7日(水)	定例総会
9月20日(水)	9月卒業式(記念品)
10月14日(土)	球技大会
11月 4日(土)	聖灯祭
12月20日(水)	クリスマス祝会
3月 5日(月)	卒業式(記念品) 卒業パーティ (大学・学友会・後援会・同窓会共同開催)

### 2017年度 学友会役員(任期2018年3月31日まで)

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	坪井 暢久	リハ2	会計長	柘植 美紗歩	社福2
副会長	山田 健太	リハ2	サークル長	角皆 亮太	社福2
副会長	松井 雄平	リハ2			

※所属の欄の「2」は学年、「社福」は社会福祉学部、「リハ」はリハビリテーション学部

## 学生数

総数1,555名／男386名／女1,169名

2017年5月1日現在 ※( )内は男子内数

看護学部	看護学科	1年次生	156( 13)
		2年次生	156( 16)
		3年次生	158( 22)
		4年次生	164( 17)
		計	634( 68)
助産学専攻科		計	17( 0)
社会福祉学部	社会福祉学科	1年次生	34( 18)
		2年次生	37( 11)
		3年次生	34( 12)
		4年次生	41( 14)
	介護福祉学科	1年次生	11( 5)
		2年次生	4( 1)
		3年次生	11( 3)
		4年次生	17( 11)
	こども教育福祉学科	1年次生	39( 6)
		2年次生	35( 6)
		3年次生	39( 4)
		4年次生	47( 1)
		計	349( 92)
リハビリテーション学部	理学療法学科	1年次生	45( 23)
		2年次生	45( 31)
		3年次生	39( 18)
		4年次生	41( 19)
	作業療法学科	1年次生	33( 13)
		2年次生	34( 17)
		3年次生	34( 9)
		4年次生	38( 17)
	言語聴覚学科	1年次生	29( 9)
		2年次生	25( 6)
		3年次生	33( 7)
		4年次生	20( 6)
		計	416(175)
看護学研究科	博士前期課程	1年次生	10( 0)
		2年次生	6( 0)
	博士後期課程	1年次生	4( 0)
		2年次生	6( 0)
		3年次生	11( 0)
		計	37( 0)
社会福祉学研究科	博士前期課程	1年次生	3( 0)
		2年次生	6( 4)
	博士後期課程	1年次生	4( 1)
		2年次生	2( 0)
		3年次生	4( 4)
		計	19( 9)
リハビリテーション科学研究科	博士前期課程	1年次生	11( 8)
		2年次生	13( 10)
	博士後期課程	1年次生	2( 2)
		2年次生	6( 3)
		3年次生	4( 4)
			計
介護福祉専門学校		1年次生	26( 6)
		2年次生	21( 9)
		計	47( 15)

# 2017年度 公開講座のご案内

保健福祉実践開発研究センター

保健福祉実践開発研究センターでは地域の皆様を対象とした公開講座を開催しています。詳細は大学ホームページに掲載しています。インターネットから、またはファックスでお申し込みください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 市民公開講座

**テーマ** 介護福祉実践とスピリチュアルケア  
～介護福祉の奥深さ、幅広さ、魅力を再発見する～  
**日時** 2017年7月29日(土) 13:00～15:00  
**講師** 佐々木 炎氏(NPO法人ホッとスペース中原 代表理事)  
**対象** 一般市民の方、専門職者  
**定員** 100名  
**場所** 聖隷クリストファー大学

**テーマ** 「がんとともに、その人らしく生きる」を支える  
**日時** 2017年11月18日(土) 13:30～15:30  
**講師** 本学看護学部准教授 井上菜穂美  
**シブシブ** 大木 純子氏(聖隷三方原病院 がん看護専門看護師)  
島田 綾子氏(聖隷浜松病院 社会福祉士)  
木村 幸子氏(訪問看護ステーション三方原 緩和ケア認定看護師)  
**対象** 一般市民の方  
**定員** 100名  
**場所** 聖隷クリストファー大学

**参加申込み** ※申込み開始は講座開催日の約1ヵ月前からです。

### ◆ インターネットからの申込み

保健福祉実践開発研究センターホームページ→公開セミナー・市民公開講座  
<http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/>  
※画面の案内に従って必要情報を入力後、送信してください。

### ◆ FAXでの申込み

FAX.053-439-1406  
氏名(フリガナ)・住所・電話番号・FAX番号・  
職業(勤務先)・申込講座名をお知らせください。

## ✈✈✈✈ 国際交流レポート

### ナンヤン理工学院研修生の受け入れ

2月25日～3月4日の間、シンガポールのナンヤン理工学院(NYP)の看護および作業療法専攻の研修生24名と教員2名が来学しました。期間中は、学生交流・ホームステイの他、学内での講義や演習、聖隷関連施設の訪問などを通して日本の保健福祉について学びました。

### 中国研修・国際理学療法実習

3月11日～19日の間、中国・重慶市の第三軍医大学および大学附属西南病院を拠点とした研修に6名、実習に2名の学生が参加しました。研修生6名は重慶市での研修の他、北京・上海の見学を行い、中国文化への理解を深めることができました。

実習生2名は、病院のリハビリテーション科で、中国の実際の治療現場を体験することができました。



### アメリカ看護研修

3月20日～30日の間、カリフォルニア州オークランド市のサミュエルメリット大学(SMU)を拠点とした看護研修に看護学部生10名が参加しました。SMUの看護学生との交流やホームステイ、最先端のシミュレーション教育、総合病院や小児ホスピスなどの施設見学を通じ、アメリカでの看護を肌で感じる研修となりました。



### アメリカ言語聴覚学研修

3月12日～21日の間、ハワイ大学マノア校 Department of Communication Sciences and Disorders にて言語聴覚学に特化した研修を実施しました。研修では、ハワイ大学の大学院生が大学内のクリニックで実際に患者さんに関わる場面を見学する機会もありました。参加学生は1～2年次生でしたが、事前研修のおかげで難易度の高い内容を理解することができました。



### 学報へのご意見・ご感想をお寄せください

読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届けできればと考えています。ご協力お願い申し上げます。

→<http://blg.seirei.ac.jp/d/>  
携帯電話からもアクセスできます

